

# 将来の運営



# 20ページ

## 2 総合原価計算

- ① 2と3の問題で5ページ下の余白を計算用紙として共有することになると思うが、余白が少ないと思う。ここに対する意見は、生徒、教員ともに非常に多かった。（滋賀）

## 3 個別原価計算

- ① 隣のページに余白がなく取引の仕訳をするスペースがなかった。それなら計算用紙があった方がよい。（奈良）

- 2 三重製作所は、組別総合原価計算を採用し、A組製品とB組製品を製造している。下記の資料によって、
- (1) 組別総合原価計算表を完成しなさい。
- (2) A組仕掛品勘定(A組製造勘定)を完成しなさい。
- ただし、i 組間接費は直接労務費を基準として配賦する。
- ii 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
- iii 月末仕掛品原価の計算は先入先出法による。

資 料

a. 月初仕掛品原価

A組	¥1,691,400 (素材費 ¥1,127,400 加工費 ¥564,000)
B組	¥1,036,000 (素材費 ¥580,000 加工費 ¥456,000)

b. 当月製造費用

	A組直接費	B組直接費	組間接費
材 料 費	¥4,340,100	¥2,655,000	¥89,000
労 務 費	¥4,752,000	¥3,168,000	¥684,000
経 費	¥312,000	¥628,400	¥217,000

c. 生産データ

	A組	B組
月初仕掛品	600個 (加工進捗度40%)	400個 (加工進捗度50%)
当月投入	2,300個	1,800個
合 計	2,900個	2,200個
月末仕掛品	500個 (加工進捗度60%)	200個 (加工進捗度40%)
完 成 品	2,400個	2,000個

- 3 個別原価計算を採用している遊賀製作所の下記の取引によって、次の各問いに答えなさい。
- (1) /月/7日の取引の仕訳を示しなさい。
- (2) 仕掛品勘定(製造勘定)・製造間接費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) A製品(製造指図書#1)とB製品(製造指図書#2)の原価計算表を作成しなさい。
- (4) /月末の貸金未払高を求めなさい。
- ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。

素 材	800個 @ ¥3,150	¥2,520,000
工場消耗品	350個 @ ¥120	¥42,000
仕 掛 品	(製造指図書#1)	¥3,210,000 (原価計算表に記入済み)
貸 金 (未払高)		¥945,000

- ii 素材の消費高の計算は移動平均法により、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
- iii 貸金の消費高の計算は、実際平均貸率を用いている。
- iv 製造間接費は直接作業時間を配賦基準として予定配賦している。

年間製造間接費予定額(予算額)	¥33,480,000
年間予定直接作業時間(基準操業度)	74,400時間

- (5) 製造間接費配賦差異における次の資料から、予算差異の金額を求めなさい。なお、解答欄の( )のなかには借方差異の場合は借方、貸方差異の場合は貸方を○で囲むこと。

資 料

- a. 製造間接費については、公式法変動予算により予算を設定して予定配賦をおこなっている。
- b. 月間の基準操業度(直接作業時間)は6,200時間である。
- c. 月間の製造間接費予算額は、変動費率 ¥250 固定費予算額 ¥1,240,000である。
- d. 当月の製造間接費の実際発生額は ¥2,754,000であった。

取 引

- /月 8日 B製品(製造指図書#2)の注文を受け、素材600個を消費して製造を開始した。
- 10日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金は掛けとした。
- 素 材 1,300個 @ ¥3,180 ¥4,134,000
- 工場消耗品 2,150個 @ ¥120 ¥258,000
- 17日 C製品(製造指図書#3)の注文を受け、素材500個を消費して製造を開始した。
- 25日 貸金を次のとおり小切手を振り出して支払った。
- 貸 金 総 額 ¥8,528,000
- うち、控除額 所 得 税 ¥654,000 健康保険料 ¥351,000
- 31日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は200個であった。よって、消費高を計上した。(間接材料)
- ② 当月の貸金実際消費高を次の作業時間によって計上した。ただし、当月の実際平均貸率は作業時間/時間あたり ¥1,300であった。
- 製造指図書#1 2,460時間 製造指図書#2 2,120時間
- 製造指図書#3 1,520時間 間 接 作 業 450時間
- ③ 直接作業時間によって、製造間接費を予定配賦した。
- ④ 健康保険料の事業主負担分 ¥351,000を計上した。
- ⑤ 当月の製造経費消費高を計上した。
- 電 力 料 ¥680,500 保 険 料 ¥154,000
- 減価償却費 620,000 雑 費 87,500
- ⑥ A製品(製造指図書#1)50個が完成した。
- ⑦ 製造間接費の予定配賦額と実際発生額との差額を、製造間接費配賦差異勘定に振り替えた。

令和 6 年度  
全国簿記競技大会

令和 6 年 7 月 24 日 (水)  
千葉商科大学

# 道府県代表作問委員のお願い

- **愛知県**
- **大阪府**
- **山口県**
- **大分県**

# 誤答調査のお願い

- ・ 山形県
- ・ 愛知県
- ・ 島根県
- ・ 大分県
- ・ 埼玉県
- ・ 滋賀県
- ・ 山口県
- ・ 千葉県
- ・ 大阪府
- ・ 香川県



ありがとうございました